

# 「子どもが主役」の児童クラブづくり

成田小学校・成田東小学校児童クラブ  
統括 森 幹彦



せんだい杜の子ども劇場による成田小・成田東小両児童クラブの運営が3年を経過しようとしています。富谷市からの業務委託を受けての児童クラブ運営ですが、行政の力強いバックアップも受けながら、子どもたちとともに一日一日を積み重ねてきました。おかげさまでたくさんの「楽しさ」「うれしさ」のある魅力的な児童クラブに育っています。また、児童クラブのよりよい運営には保護者、学校、地域団体等との連携が大切ですが、こうした面についても時間の経過とともに「顔がわかる関係」が広がり、この関係を軸に諸団体との協働的なイベントの実施回数が増えました。その中で、子どもたちが計画から運営まで主体的に関わって実施される参画型事業もあり、子どもたちは目を輝かせながら、各人の仕事に懸命に取り組みました。自分たちで考え作り上げてきたものをみんなでやりきろうとする姿に、保護者も地域のみなさんも感動しました。そして子どもたちの頼もしい成長に「子どもが主役」の児童クラブに育ってきたことを実感できました。

児童クラブの子どもたちの活躍と成長の様子を成田地区のみなさんに広く伝える機会があれば、両児童クラブが成田地区での存在感を高め「地域に根ざした子どものほっとステーション」としての役割がさらに担えるのではないかと考えてきました。そうしたところ成田地区青少年健全育成連絡会事務局からの声かけがあり、昨年12月に児童クラブについて話題提供する機会を得ることができました。事務局担当者から「学校職員をはじめとして参加のみなさんも児童クラブそのものや児童クラブで子どもたちがどんな活動をしているのかよくわからないので詳しく教えてください」という要望がありました。そこで成田東児クの宮崎室長とともに、発表内容を何度も検討し話題提供を行いました。「児

童クラブの1日」「児童クラブのイベント」などについてお話ししました。参加されたみなさんはとても熱心に聞いてくださいました。連絡会終了後に「児童クラブのことがよくわかりました」「子どもたち、がんばっていますねえ」などの感想をいただきました。

おわりに、成田地区における児童クラブの登録状況について紹介します。

2019年度児童クラブへの登録者数は成田小が114名、成田東小が105名でした。2019年4月時点での全校児童数は成田小が388名、成田東小が381名でした。これを登録率（全登録者数÷全校児童数）として数値化すると成田小が29.4%、成田東小が27.6%です。そして、登録率を学年別にみると、両児童クラブとも1年、2年、3年は40%以上になっています。また4年以上では、6年が10%以下で最少ですが、4年、5年は20%から30%の登録があります。ちなみに富谷市全体では登録率が28.9%で、全国の登録率19.2%を10ポイント近く上回っています。

両児童クラブの令和2年度利用申請（1月24日締切）では、継続利用を希望する子どもたちが多く、2019年度以上に登録率は上がっています。「児童クラブを利用したい」と考える保護者の方、「児童クラブに行きたい」と希望する子どもたちがこれからも増えることが予想されます。こうしたニーズにこたえていくためにも、多くのみなさんと連携しながら引き続き「子どもが主役」の児童クラブづくりに取り組んでいきたいと考えています。

